

高校生の皆様へ

高校生の皆さんこんにちは。学校長の山藤賢（さんどうまさる）です。現在の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による緊急事態宣言の中、高校生の皆さんも保護者の皆様も大変な我慢とご苦労をされながら日々をお過ごしのことと思います。私共としても、行政からの指導の元、許可さえ出れば、いつでもオープンキャンパスなどの対応が再開できるよう、準備しております。

動画のメッセージでもお伝えしましたが、まず、本年の推薦入試に関しまして、従来はオープンキャンパスの参加を必須としておりましたが、現在の状況を踏まえ、課題を提出していただくことにより、推薦入試の申し込みを許可することといたしました。詳しくは入試案内を参照してください。

私の方からはこの手紙で本校が大切にしている3つのことをお伝えしたいと思います。

一つ目は、勉強と結果の大切さについてです。この3月に発表されました、本年の国家試験結果におきまして、本校は新卒の合格率100%、総合で見ても全国の大学、短大、専門学校も含めまして、合格率は日本で一番の成績でありました。全国平均が71.5%という難易度の高かった今年の国家試験において、この成績は大変誇らしく思います。学生達が本当に頑張った結果です。ただし、私共はこの合格率を目標にしている訳でも誇りにしている訳でもありません。なぜなら合格率はそれぞれの学校が求める目的により変えることも決めることも出来るからです。厚生労働省の発表一覧を見ても、私共の合格率に近い学校、新卒で100%近い結果を出している学校の中には、入学した時の数の約半分しか受かっていない学校もあります。そのような学校は合格率をキープするためにも、それまでの過程の中で、学生数が削られていきます。私共の目指しているものは、そこにはありません。私共は「全員卒業・全員合格」というスローガンを掲げ、一人でも多くの学生達を現場から必要とされる臨床検査技師にすることが目的です。そのために、一人ではなく、皆がお互いを支え合いながら目標に向かって高めあう文化、校風があります。その雰囲気や環境を大事にしていますので、皆さんの中にある、人の役に立つ仕事に就きたいという熱い思いを大事に、この学校の門を叩いて欲しいと思います。

二つ目に、技術教育と医療人としてのあり方を大事にしています。昨今、臨床検査技師教育も大学化が進む中、臨地実習と呼ばれる病院実習は短くなる傾向にあります。しかし、現在のCOVID-19のPCR検査対応が騒がれているように、どんなに機械化が進んでも、人の技術が必要な分野や場面は必ずあります。その時に知識だけで行動できない医療人は現場では必要ありません。そのため、他校の病院実習が、短くて2週間、長くて3か月くらいのところが多いのに比べ、本校では、6か月という日本で一番長い病院実習を設けています。しかし、そのためにはそれを引き受けてくれる病院との信頼関係が必要です。今年40周年を迎える本校は、これまでの歴史の中で、都内でも有数の20施設ほどと提携を結び病院実習を行っています。また、医療人としてのあり方ですが、本校では教育

の最終目標を人としての自立と定めています。自立とは、自分自身の足で、大地をしっかりと踏みしめ、自分の責任において人生を生き抜いていける力のことです。そのためには、自分を律することの出来る自律が大事と考えています。学内においては、明るい校風の中でも、医療の現場に出てからも大事になる、挨拶や掃除などの礼節を重んじ、人から信頼される振る舞いが出来る医療人を目指します。そのような学生時代の習慣は、就職においても、実際の現場に出てからも必ず役に立ち、自立した医療人としての自分の価値を高めることとなります。

そして三つ目になりますが、それは動画メッセージで最後に述べた自分の心の使い方です。私は、現在の休校状態に入る前の最後のホームルームで学生にこう伝えました。「確かに今はこんな状況で、世間も、テレビのニュースも暗い話題ばかりです。皆さんも自粛ということで家でおとなしく過ごしていなければならず、暗くなりますよね。でも、状況は自分で変えることは出来ず、環境も変えられないので、暗いのはしょうがないと思いませんか？だからと言って自分が暗くある必要がありますか？そんな状況でも、自分は明るく、元気であることは出来るはずですよ。この機会に家で勉強する時間が出来たり、読書をする事が出来たり、普段は忙しくてなかなか話せなかった友人と連絡とれる時間が出来たかもしれませんね。どんな状況でも、自分がどうあるかは、自分の心は、自分で決めることができます。そこで何を選択するのか、自分がどういう人間でいたいのか、どう行動するのか。すべては自分の心の決め方次第なんです。自分の心は誰かに委ねるものではありません。自分だけの、自分で決められる領域なんです。周りがこんな状況だからこそ、それでも、明るく、元気に生きませんか。」

以上のことは、高校生の皆さんにも同様です。今のこのような状況にいる高校生は、これまでの歴史上存在しません。このような状況を体験した皆さんが、新たに臨床検査技師となっていくことで、今までとは違う新しい価値の臨床検査技師が生まれてきます。それは時代の変革を伴う新しい臨床検査技師像の創出です。その明るい未来のために、今は自粛や我慢の時間であっても、自分の心を自分で定め、自分を磨くための時間に使って欲しいと思います。

最後になりますが、皆さん、体には十分注意していただき、また元気で皆さんと会える日を楽しみにしています。

皆さんの健康を心より祈っております。

昭和医療技術専門学校校長 山藤 賢